



**HOKKAIDO**  
UNIVERSITY

# **KAKENHI:**

# **Results and feedback**

**Michael HENRY**

Associate Professor

Division of Field Engineering for the Environment

Faculty of Engineering, Hokkaido University

# Finding the results of previous applications

After logging into the KAKENHI online system...



The screenshot shows the JSPS KAKENHI online system interface. At the top, there is a blue header with the text "JSPS 科研費電子申請システム" and buttons for "ヘルプ" (Help) and "ログアウト" (Logout). Below the header, there is a navigation menu with "応募者向けメニュー" (Applicant's menu). The main content area is titled "応募者向けメニュー *Applicant's menu*" and contains a section for "応募手続き・交付申請手続きに関するお知らせ" (Notice regarding application procedures). A box titled "お知らせ" (Notice) contains the following text:

9/14 **科研費電子申請システムによる平成29年度科研費応募書類（研究計画調書）の作成等について**  
科研費電子申請システムにより、平成29年度科研費応募書類（研究計画調書）の作成等が可能となりましたのでお知らせします。  
作成等が可能となった研究種目は以下のとおりです。

- ・特別推進研究
- ・新学術領域研究（研究領域提案型）
- ・新学術領域研究（研究領域提案型）（継続の研究領域）
- ・基盤研究
- ・挑戦的研究
- ・若手研究

Below the notice, there is a section for "研究者情報確認" (Researcher information confirmation) with a link "e-Radで登録された研究者情報を確認する" and a button "研究者情報を確認する". A large blue arrow pointing downwards is overlaid on the right side of the page, with the text "Scroll down" inside a white box.

# Finding the results of previous applications

## 応募手続き

- ▶ 応募を開始する

特別推進研究

基盤研究・挑戦的研究・若手研究

研究活動スタート支援

新学術領域研究(研究領域提案型)  
(新規の研究領域)

新学術領域研究(研究領域提案型)  
(継続の研究領域・終了研究領域)

すでに作成した調書を修正・確認する場合は、以下から処理を行ってください。

- ▶ 作成中の調書を修正する

現在作成中の調書はありません。

- ▶ 提出した申請の処理状況を確認する

現在申請済みの調書はありません。

## 審査結果開示 *Disclosure of review results*

- ▶ 審査結果を閲覧する場合は、以下から処理を行ってください。

審査結果を閲覧する

→ View review results

# Finding the results of previous applications

JSPS  
科研費電子申請システム

応募者向けメニュー>審査結果開示メニュー

## 審査結果開示メニュー *Disclosure of review results menu*

<重要>\*審査結果の開示については、以下の注意事項をご確認ください。

- 採択されなかった応募課題のうち、応募時に審査結果の開示を希望した課題については、以下の一覧から定型所見による審査結果を閲覧することができます。
- 審査結果開示期間以外は、審査結果の閲覧はできませんのでご注意ください。

研究種目名	研究課題名	審査結果開示期間	審査結果開示状況
平成28年度 若手研究 (B)		2016年4月22日～2016年11月25日	開示されています <a href="#">&gt;&gt;こちらをクリック</a>

メニューに戻る

Application year and category

Application title

Period that results are available

Click here to view results

Note: these results are only available if you select the option for “disclosure of review results” at the time of application

# Review results: general information

## 審査結果開示

研究種目名	平成28年度 若手研究 (B)	Year and category
細目	3901 経営学	Research field
分割番号		
研究課題名		Title

ご応募いただいた研究種目・分科・細目における上記研究課題の審査結果は次のとおりでした。

区 分		応募件数	採択件数	採択率
研究種目名	若手研究 (B)	18,996件	5,716件	30.1%
分科	経営学	202件	66件	32.7%
細目	経営学	112件	36件	32.1%

あなたの応募された研究課題について、応募細目での審査結果は下記のとおりでした。

なお、若手研究 (B) は、細目毎に4名の審査委員が個々の研究課題について専門的見地から第1段審査と、第1段審査を基にして、広域から総合的に採択調整を行うことを主眼として合議 (小委員会) により行われる第2段審査 (分野毎の審査委員は「分科」文社会系では「分目」単位) によって採択研究課題が決定されます。

Category  
Discipline  
Research field

Number of  
applications

Accepted  
applications

Acceptance  
rate

# Review results: your evaluation

## 1. Your approximate ranking among all the applications in the applied research field that were not accepted

記

### 1. 応募細目における採択されなかった研究課題全体の中でのあなたのおおよその順位

あなたのおおよその順位は「B」でした。

(参考1) おおよその順位

A	応募細目における採択されなかった研究課題全体の中で、上位20%に位置していた
B	応募細目における採択されなかった研究課題全体の中で、上位21%～50%に位置していた
C	応募細目における採択されなかった研究課題全体の中で、上位50%に至らなかった

Your approximate rank was "B"

- (A) Among all the applications in the applied research field that were not accepted, your application was in the upper 20%
- (B) Among all the applications ..., your application was in the 21% to 50% range
- (C) Among all the applications ..., your application did not reach the upper 50%

# Review results: scores by evaluation item

## 2. Written evaluation results (1) Results by evaluation item

### 2. 書面審査等における評価結果

第1段階審査の各評定要素については、4段階の絶対評価（「1～3」の評定基準参照）により審査を行っています。あなた

#### (1) 【評定要素ごとの結果】

あなたの研究課題の平均点及び当該細目において採択

評定要素	あなたの平均点	採択課題の平均点
①研究課題の学術的重要性・妥当性	3.00	3.27
②研究計画・方法の妥当性	2.25	3.22
③研究課題の独創性及び革新性	3.25	3.22
④研究課題の波及効果及び普遍性	2.75	3.13
⑤研究遂行能力及び研究環境の適切性	3.00	3.28
⑥研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性	(該当なし)	(該当なし)

※当該細目に採択課題が無い場合は、採択課題の平均点は「0.00」と表示されます。

(参考2) ①～⑤の評定基準

評点区分	評定基準
4	優れている
3	良好である
2	やや不十分である
1	不十分である

- (1) Academic importance and appropriateness of the research matter
- (2) Appropriateness of the research plan and method
- (3) Originality and innovation of the research matter
- (4) Spillover effect and generality of the research matter
- (5) Adequacy of the research ability and research environment
- (6) Relevance of the research plan and received progress evaluation to the research matter

Your average score

Average score of the accepted applications

- 4 Excellent
- 3 Good
- 2 Somewhat insufficient
- 1 Insufficient

期待できる
はあまり期待できない
はほとんど期待できない
価を受けた研究課題との関連性はない別個の研究課題である



# Review results: issues identified by reviewers

## (2) Identified issues when a score of "2" or "1" was received

Some examples...

(1) Academic importance and appropriateness of the research matter

From a scientific standpoint, is this an important research matter that should be promoted?

(2) Appropriateness of the research plan and method

Is the research plan sufficient to achieve the research objectives?

Is the research cost reasonable?

(2)【審査の際「2(やや不十分である)」又は「1(不十分である)」と判断した項目(所見)】

十分である)」が付された評定要素については、

項目	審査委員の数
①研究課題の学術的重要性・妥当性	
・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか	*
・研究構想や研究目的が具体的かつ明確に示されているか	
・応募額の規模に見合った研究上の意義が認められるか	*
・研究目的を達成するため、研究計画は十分練られたものになっているか	*
・研究計画を遂行する上で、当初計画どおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況は考慮されているか	*
・研究期間は妥当なものか	
・経費配分は妥当なものか	*
②研究計画・方法の妥当性	
・研究代表者が職務として行う研究、または別に行う研究との関連性及び相違点	
・公募の対象としてい	
a) 単に既製の研究	
b) 他の経費で措置	
c) 商品・役務の目	
d) 業として行う	
・研究	
された	
応募された研究を推進することによって、格段の研究発展が見込まれるものであるか	

Number of \* indicates how many reviewers identified that issue



# Review results: issues identified by reviewers

- (3) Originality and innovation of the research matter
- (4) Spillover effect and generality of the research matter
- (5) Adequacy of the research ability and research environment
- (6) Relevance of the research plan and received progress evaluation to the research matter

Is it expected that there will be a large contribution to the research field or related fields, development of a new field, or scientific spill-over effect?

③研究課題の独創性及び革新性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究対象、研究方法などに関する研究成果等について、公刊論文や特許の取得等があるか</li> </ul>		
④研究課題の波及効果及び普遍性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該研究分野もしくは関連研究分野の進展に対する大きな貢献、新しい学問分野の開拓等、学術的な波及効果が期待できるか</li> <li>・科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献が期待できるか</li> </ul>	**	
⑤研究遂行能力及び研究環境の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに受けた研究費とその研究成果を評価し、これまでの研究業績等から見て、研究計画に対する高い遂行能力を有していると判断できるか</li> <li>・複数の研究者で研究組織を構成する研究課題にあつては、組織全体としての研究力は十分に高いか、また各研究分担者は十分大きな役割を果たすと期待されるか</li> </ul>	*	
⑥研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性</li> </ul>		

※審査の際「2（やや不十分である）」又は「1（不十分である）」が示された場合は、\*は表示されません。

Based on the research achievements until now, such as received research funds and results, is there a high ability to achieve the research plan?

If no reviewers gave a “2” or “1,” then no \* will be shown